

補助事業番号：23-1-004

補助事業名：自転車競技の普及促進

(全日本選手権大会等国内での大会開催事業他、国内での国際大会開催事業、ロンドンオリンピック他国際競技大会への選手派遣事業、加盟団体による事業、連盟が指定する強化指定選手に対する合宿等強化事業、広報誌の発行、アンチ・ドーピング等自転車競技の普及促進事業)

補助事業者名：財団法人日本自転車競技連盟

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車競技の普及、振興を行い、国民の心身の健全な発達を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 国内競技大会の開催

- ・ [2011年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会](#)：5月28日～29日(東京・立川競輪場、男子98名、女子28名参加)



- ・ [第80回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラック・レース](#)：5月28日～29日(東京・立川競輪場、男子128名、女子25名参加)



- ・ [2011年全日本選手権個人タイムトライアルロードレース](#)：6月12日(秋田・大湯村ソーラー・スポーツ、男子75名、女子17名参加)



- ・ [第 16 回ジュニア全日本選手権ロードレース](#) : 6 月 25 日、岩手・八幡平、男子 263 名、女子 17 名参加)



- ・ [第 80 回全日本アマチュア自転車競技選手権大会ロードレース](#) : 6 月 25 日 (岩手・八幡平、男子 93 名参加)



- ・ [第 14 回全日本自転車競技選手権大会ロードレース](#) : 6 月 26 日 (岩手・八幡平、男子 131 名、女子 27 名参加)



- ・ [第 46 回全国都道府県対抗自転車競技大会](#) : 9 月 8 日～10 日 (トラック 岐阜・岐阜競輪場、ロード 岐阜・美濃、男子 172 名、女子 43 名参加)



- ・ [第 14 回全日本自転車競技選手権大会トラックレース](#) : 10 月 14 日～16 日 (静岡・伊豆ベロドローム、男子 93 名、女子 21 名参加)

②国内での国際競技大会事業

- ・ [第 75 回世界室内自転車競技選手権鹿児島大会](#) : 11 月 4 日～6 日 (鹿児島・鹿児島、男子 6 名、女子 2 名参加)

③国際競技大会事業

ア. 世界選手権大会派遣

- ・ [トラック](#) : 平成 24 年 4 月 4 日～8 日 メルボルン(オーストラリア)10 名
- ・ [BMX](#) : 7 月 28 日～31 日 コペンハーゲン (デンマーク) 8 名



- ・ [マウンテンバイク](#) : 8 月 31 日～9 月 4 日 シャンペリー (スイス) 9 名



- ・ [ロード](#) : 9 月 19 日～25 コペンハーゲン (デンマーク) 10 名



イ. アジア選手権大会等

- ・ [2012 年アジア選手権自転車競技大会](#) [トラック](#)・[ロード](#) : 2 月 4 日～19 日 クアラルンプール (マレーシア) 26 名



- ・ [2011 年アジアMTB選手権自転車競技大会](#) [MTB](#): 6 月 8 日～13 日 蘇州(中国)12 名



ウ. その他国際大会選手派遣事業



- ・ 2011-2012UCI トラックワールドカップ
 - [第1戦](#) : 11月3日～6日 アスタナ (カザフスタン) 12名
 - [第2戦](#) : 11月30日～12月3日 カリ (コロンビア) 9名
 - [第3戦](#) : 1月12日～15日 北京 (中華人民共和国) 10名
 - [第4戦](#) : 2月16日～19日 ロンドン (イギリス) 8名
- ・ [日韓対抗学生自転車競技大会](#) : 11月4日～5日 羅州市 (大韓民国) 選手 15名

④加盟団体事業

ア. 都道府県車連事業

-全国地域別道路競走大会-

- 第43回北海道地域 7月3日 北海道・豊富、男子32名
- 第46回関東地域 11月6日 新潟・南魚沼、男子110名、女子6名
- 第45回中部地域 9月17日 三重・鈴鹿ツインサーキット、男子25名、女子6名
- 第46回近畿地域 5月29日 京都・南丹、男子89名、女子5名
- 第46回中国地域 6月19日 島根・奥出雲、男子107名
- 第36回四国地域 10月30日 香川・三豊市、男子40名
- 第44回九州地域 9月26日 大分・オートポリス、男子54名、女子2名

-全国地域別トラック・レース大会-

- 第63回関東地域 7月10日 東京・立川競輪場、男子66名、女子18名
- 第45回中部地域 9月18日 三重・松阪競輪場、男子56名、女子7名
- 第44回近畿地域 11月13日 奈良・奈良競輪場、男子80名、女子6名
- 平成23年度中国地域 9月4日 島根・大田市自転車競技場、男子34名
- 第44回四国地区 11月13日 徳島・小松島競輪場、男子37名、女子1名
- 平成23年度九州地区 9月24日～25日 熊本・熊本競輪場、男子78名、女子4名

-各都道府県別選手権-

(平成23年4月1日～平成24年3月31日) 41都道府県

イ. 日本プロフェッショナルサイクリスト協会事業

- ・ [全日本プロ選手権自転車競技大会トラック・レース](#) : 5月16日 山口・防府競輪場、男子174名
- ・ [全日本プロ選手権自転車競技大会BMX競技](#) : 11月13日 静岡・日本CSC、男子43名
- ・ 平成23年度地区プロ自転車競技大会
 - 第38回北日本地区 9月11日 福島・いわき平競輪場、男子59名
 - 第38回関東地区 10月27日 群馬・グリーンドーム前橋、男子112名
 - 第38回南関東地区 10月10日 神奈川・川崎競輪場、男子93名
 - 第38回中部地区 10月2日 三重・松阪競輪場 男子84名
 - 第38回近畿地区 9月23日 奈良・奈良競輪場 男子96名
 - 第38回中国地区 10月23日 岡山・玉野競輪場 男子60名

- 第 38 回四 国地区 9 月 25 日 愛媛・松山競輪場 男子 60 名
- 第 38 回九 州地区 10 月 2 日 熊本・熊本競輪場 男子 106 名

ウ. 全国高等学校体育連盟事業

- ・ [平成 23 年度全国高等学校選抜自転車競技大会](#)：平成 24 年 3 月 22 日～25 日
トラック競技（福岡・小倉競輪場）、ロード競技（熊本・山鹿）

エ. 日本学生自転車競技連盟事業

- ・ [第 27 回全日本学生選手権個人ロードレース大会](#)
6 月 18 日～19 日 長野・木祖村、男子 156 名、女子 21 名
- ・ [第 50 回全日本学生選手権チームロードタイムトライアル大会](#)
6 月 4 日 埼玉・加須、羽生、男子 154 名
- ・ [第 52 回全日本学生選手権自転車競技大会](#)
5 月 14 日～15 日 静岡・日本 CSC、男子 224 名、女子 19 名
- ・ [文部科学大臣杯第 67 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会](#)
9 月 1 日～4 日 長野・松本かりがね自転車競技場、大野市、男子 381 名、女子 47 名



オ. 全日本実業団自転車競技連盟事業

- ・ 第 45 回全日本実業団西日本ロードクラシック広島大会
6 月 5 日 広島・中央森林公園、男子 527 名、女子 18 名
- ・ 第 42 回全日本実業団東日本トラック
6 月 26 日 長野・かりがね自転車競技場、男子 58 名、女子 5 名
- ・ 第 45 回全日本実業団東日本ロードクラシック石川大会
7 月 17 日 福島・石川町、浅川町、男子 349 名、女子 18 名
- ・ 第 45 回全日本実業団西日本トラック
7 月 24 日 大阪・岸和田競輪場、男子 84 名、女子 7 名
- ・ 第 45 回全日本実業団東日本ロードクラシック修善寺大会
7 月 31 日 静岡・日本 CSC、男子 307 名、女子 12 名
- ・ 第 42 回全日本実業団全日本トラックチャンピオンシップ
9 月 4 日 大阪・関西 CSC、男子 51 名、女子 7 名
- ・ 第 45 回全日本実業団経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ
9 月 25 日 静岡・日本 CSC、男子 429 名、女子 27 名

⑤選手強化事業

- ・ 選手強化事業

（トラック、ジュニア、MTB、BMX 強化合宿等全 29 回実施、延べ 320 名参加）

⑥指導普及事業

・第1級公認審判員講習会

- 実習 9月1日～4日(第67回全日本大学対抗選手権大会・長野、5名参加)、
9月7日～10日(第46回全国都道府県対抗自転車競技大会・岐阜、5名参加)
平成24年1月7日～9日(東京・墨田区、5名参加)
講習 平成24年1月7日～9日(東京・墨田区、5名参加)

・広報誌の発行、計10回発行：各回4,000部印刷・配布

[No.180](#) ・ [No.181](#) ・ [No.182](#) ・ [No.183](#) ・ [No.184](#) ・ [No.185](#) ・
[No.186](#) ・ [No.187](#) ・ [No.188](#) ・ [No.189](#)

⑥自転車競技に関する調査研究事業

・各種委員会34回開催

2. 予想される事業実施効果

(1)国内競技大会事業

本事業の実施により、登録者の練習成果の最高峰の場として、かつ予め定められた開催要項に基づき公正かつ安全な各種目の全日本選手権等を提供するとともに、海外派遣の選手選考の一助とするべく効率的な開催をすることにより、自転車競技の普及に寄与する。

(2)国内での国際競技大会事業

本事業の実施により、海外からのトップアスリートを呼び、高度かつ円熟したパフォーマンスを披露することにより、連盟登録者に対する刺激に加え、観客等一般の人達に対し競技の魅力を全国に発信することにより、自転車競技の普及促進を図る。

(3)国際競技大会事業

連盟の選手強化は、オリンピック、世界選手権大会を頂点とする国際大会で世界に伍して戦うため、優秀な指導者・スタッフの下、年間を通しての計画的・科学的なトレーニングが不可欠であるとともに、海外での国際大会の経験を重ねることが必要である。

(4)加盟団体事業

競技の底辺を支える全国47都道府県車連において、それぞれの地元の実情に合わせて計画した事業の実施を通じて、自転車競技の普及を図ることにより、1名でも多くの登録者の増加を目指す。

また、高体連、学連、実業団にあっては、将来の日本代表に育つであろう若手の育成を目的とするものであり、1名でも多くのエリート強化指定選手が生まれることを目指す。

プロ協会にあっては、競輪選手を中心に特にトラック競技への参加を促すことにより、レベルアップを図る。

(5) 強化普及事業

本事業の実施により、オリンピック、世界選手権大会を頂点とする国際大会で世界に伍して戦うこととなり、将来的な自転車競技の普及・振興につながるものである。

全国自転車競技指導担当者研修会・審判員講習会の開催については、自転車競技の向上において、競技力及び審判技術の向上は欠かせないため、最新の情報収集を行う。

また、チャレンジサイクルロードレース等の大会においては、広い世代に競技の楽しさをアピールし、競技の普及と登録者拡大を目指す。

広報関係では一般の方やファン層に向けた宣伝や観客動員を意識しPR対策、メディアに対しても広報活動を実施していく。

(6) 自転車競技に関する調査研究事業

本事業の実施により、前記各事業の円滑な遂行を図る。

3. 本事業により作成した印刷物

下記大会のプログラム

- ・ [2011年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会](#) : 500部
- ・ [第80回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラック・レース](#) : 500部
- ・ 2011年全日本選手権個人タイムトライアルロードレース : 200部
- ・ [第16回ジュニア全日本選手権ロードレース](#) : 1,000部
- ・ [第80回全日本アマチュア自転車競技選手権大会ロードレース](#) : 1,000部
- ・ [第14回全日本自転車競技選手権大会ロードレース](#) : 1,000部
- ・ [第46回全国都道府県対抗自転車競技大会](#) : 800部
- ・ [第14回全日本自転車競技選手権大会トラックレース](#) : 450部

他、加盟団体等実施の競技大会プログラム

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 財団法人日本自転車競技連盟(ザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ)

住所 : 107-0052 東京都渋谷区神南1-1-1

代表者名 : 会長 富原忠夫(トミハラタダオ)

担当部署 : 総務部

担当者名 : 総務部長 菊田 聡

電話番号 : 03-3582-3713

FAX 番号 : 03-5561-0508

URL : <http://jcf.or.jp/>

次ページ以降は、過去の補助事業の内容に関する資料となります。

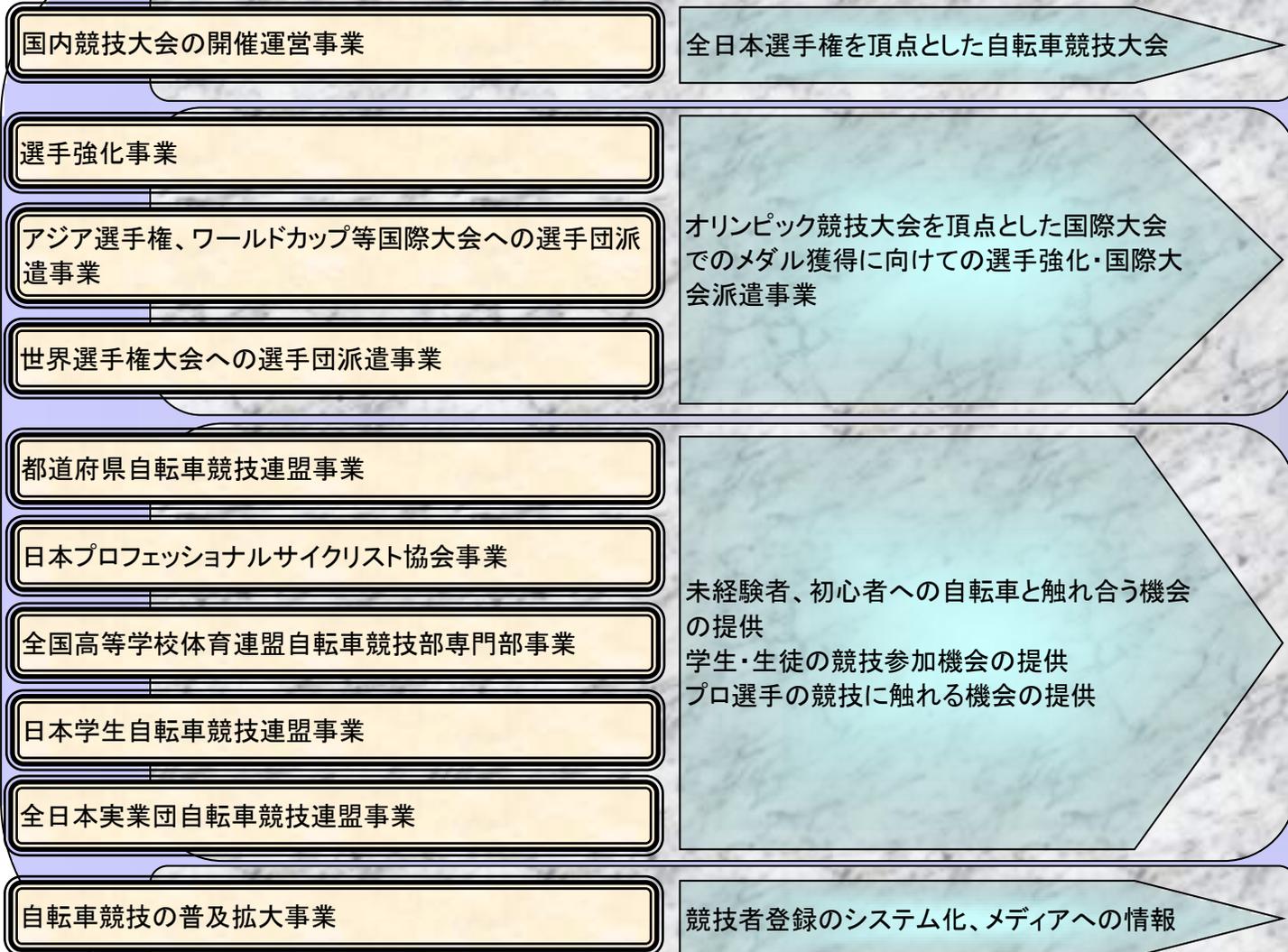
自転車競技を通じた国民の健全な心身の発達への寄与

～ 競輪補助事業による社会貢献 ～

日本の自転車競技界を統轄し、代表する団体として自転車競技の普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

～ 日本国内で唯一の自転車競技統括団体として、自転車競技の普及振興を目指す ～

⇒ ⇒ ⇒ 競輪公益資金振興補助事業 ⇒ ⇒ ⇒



競技者層の拡大（競技者登録数の拡大）

自転車競技のブランド力アップ
補助事業活動の社会への認知度アップ

自転車をとにかく環境

- 国内での自転車愛好者の増加
- 初心者が気軽に参加できる草レースの増加

一般道での事故が社会問題に！
草レースでのマナー・ルールの
不知によるレース中の事故の問題

主催者による安全対策の実施が不可欠！！

競輪の補助金による事業により
子供のときから高校、大学生へと自然に段階を経て身につく
～ 楽しく、安全に自転車に乗ることができる ～

都道府県での各種事業

- ◎ 幼児対象事業
- ◎ 初心者・入門教室
- ◎ 女子競技者の育成
- ◎ 友の会
- ◎ 記録会
- ◎ ケイリン種目の普及
- ◎ 県別選手権大会
- ◎ 地区別選手権大会

高体連事業

- ◎ 全国高等学校選抜自転車競技大会
- ◎ 全国合宿（ブロック別・全国合宿）
- ◎ チョンジュMBC国際ロードレース

学連事業

- ◎ トラック学生選手権
- ◎ ロード学生選手権

競技者登録選手と歩行者との事故 **ゼロ！**
JCF公認等大会中の死亡事故・後遺障害を伴う事故 **ゼロ！**

↓
自転車競技を通じた社会貢献の実現

競技者登録数
着実な歩み

平成20年度
5,739人

平成21年度
5,829人

平成22年度
6,059人

平成23年度
6,321人

更なる会員増へ！

日本の自転車競技の強化

